

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 1 区分
 【発行日】平成 19 年 10 月 11 日 (2007.10.11)

【公表番号】特表 2007-524848 (P2007-524848A)
 【公表日】平成 19 年 8 月 30 日 (2007.8.30)
 【年通号数】公開・登録公報 2007-033
 【出願番号】特願 2006-541170 (P2006-541170)
 【国際特許分類】

G 0 1 T 1/00 (2006.01)

H 0 4 N 1/04 (2006.01)

【F I】

G 0 1 T 1/00 B

H 0 4 N 1/04 E

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 7 月 25 日 (2007.7.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

潜像を記憶する記憶燐光体へ方向付けられた刺激する放射を生じさせる源、

該記憶燐光体からの放出された放射を、該放出された放射よりも長い波長における、しかし、実質的にランベルト関数分布よりも狭い角度的な強度分布を備えた放射へ、転換する共振性マイクロ空洞転換器、及び

該より長い波長の放射を検出する検出器を含む記憶燐光体結像系。

【請求項 2】

前記転換器は、

a) 基体、

b) 所定の範囲の波長にわたる光に対して反射性の、且つ、該基体より上に配置される下部の誘電体スタック、

c) マイクロ空洞の放出を生じさせる活性な領域、並びに

d) 該下部の誘電体スタックから間隔を空けられた、且つ、所定の範囲の波長にわたる光に対して反射性の、上部の誘電体スタックを含み、

e) 該活性な領域は、一つ以上の周期的な利得領域、及び、該周期的な利得領域のいずれかの側に配置された、且つ、該周期的な利得領域が前記デバイスの定常波の電磁場の波腹と整列させられるように配置されたスペーサー層を含む、請求項 1 に記載の系。

【請求項 3】

一つ以上の周期的な利得領域は、有機のホスト材料及びドーパントの組み合わせであると共に、

前記スペーサー層は、誘導放出の光及びマイクロ空洞の放出光に対して実質的に透明である、

請求項 2 に記載の系。